

第18回国立市健康危機管理対策本部会議記録

日時	令和3年7月12日（月）午前9時00分から午前9時50分
場所	市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長（健康福祉部ワクチン接種対策室長）、門倉都市整備部長、江村都市整備部参事、矢吹会計管理者、橋本教育次長、内藤議会事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局 立川消防署：玄海予防課長、瀧岡国立出張所長
付議事項	<p>（1）緊急事態宣言発出に伴う市の対応について</p> <p>①東京都の感染状況について ・東京都モニタリング会議資料（資料No.1）</p> <p>②国立市の感染状況について（資料No.4）</p> <p>③国立市医師会長コメント（資料No.2）</p> <p>④公共施設、イベントの取り扱いについて</p> <p>（2）その他</p> <p>①庁舎サーモグラフィーの設置について</p> <p>②立川消防署からの情報提供</p> <p>③ワクチン接種について</p> <p>④医療機能を強化した宿泊療養施設について</p> <p>（3）本部長指示及び対応方針について</p>
主な内容	<p>（進行：大川健康福祉部長）</p> <p>1 本部長あいさつ（永見市長）</p> <p>今日から8月22日までの宣言下という長丁場に対応するための最終的な意思決定をする。主に国立市の状況がどうなっているのかということについての説明をいただき、情報共有する。また、東京でも感染者数が1,000人近くになっていることについて、国立市の動向はどうなのか、宣言発出に基づき何が変わるのか等、市民に対して情報を分析して、何を発信するか、何に気を付けるかを共有し、意思確認をしていきたい。</p>
	<p>2 議 題</p> <p>緊急事態宣言発出に伴う市の対応について</p> <p>①東京都の感染状況について（事務局：増田健康推進担当係長） ・東京都モニタリング会議資料（資料No.1）</p> <p>②国立市の感染状況について（事務局：増田健康推進担当係長） ・資料No.4</p> <p>③国立市医師会長コメント ・資料No.2</p> <p>④公共施設、イベント等の取り扱いについて ・資料No.3</p> <p>○聖火リレーは公道での開催を中止。（橋本教育次長）</p> <p>○体育館、芸小ホール、公民館、図書館、郷土文化館はこれまでの対応しつつ、継続開館。夏休み中の自然体験は緊急事態宣言期間を外しての調整協議中。（橋本教育次長）</p> <p>○旧国立駅舎はこれまでの対応を継続し、状況に応じて人数制限する。（門倉都市整備部長）</p> <p>○集会施設は、引き続き20時以降の利用の自粛をお願いしていく。（黒澤生活環境部長）</p> <p>○福祉会館はこれまでの対応を継続する。（大川健康福祉部長）</p> <p>○長崎平和派遣は中止し、代替内容を検討。デイキャンプ等については調整中。（子ども家庭部長）</p> <p>○公園等の使用については特段の変更はなく、バーベキューでの利用も控えていただいている。（黒澤生活環境部長）</p> <p>●議論を踏まえ、これまでの対応を継続し、さらに感染予防を徹底していく。（大川健康福祉部長）</p>

(2) その他

①庁舎内のサーモグラフィー設置について（藤崎行政管理部長）

7/12（月）より庁舎出入口3か所にサーモグラフィーを設置した。

②立川消防署からの情報提供（玄海予防課長）

立川消防署の救急隊5隊によるオゾン消毒の実施件数（新型コロナウイルス感染症及び疑似搬送件数）は4～6月で57件（昨年4～6月は21件）で、背景には変異株の増加がうかがえる。令和3年1～3月は80件であったため、数字上の件数は減少しているが、変異株の割合が増加していることから危険性が下がっているとは言い難い状況である。

③ワクチン接種について

・市民の接種について（黒澤ワクチン接種対策室長）

7/11までの実績で高齢者の84%（15,973人/約19,000人）が1回目の接種。2回目の接種済は66.2%である。高齢者の接種は終了に近づいている。

12～64歳の1回目接種が12%（6,142人/約51,000人）、2回目接種は4%（2,227人）となっている。

市全体としては、接種対象者が約70,000人で1回目接種が31.6%、2回目接種が20.8%である状況。

ワクチンが不足しているという報道はあるが、9月末までに接種希望される7割の方には接種できる予定である。

また、14日に12～15歳の方への接種券の送付を行う。

④医療機能を強化した宿泊療養施設について（増田健康推進担当係長）

「東京入院待機ステーション」が設置される予定である。

3 本部長指示及び対応方針について

対応方針は大きく変わることはないが、国立市の感染状況としては、爆発的に拡大しているところも見受けられないということで、細心の注意をもって、市民の方々にも呼び掛けていくほか、職員、施設運用についてもこれまでどおり実施していく。また、子どもに関わる行事が一部中止、延期となっているが、子どもたちにとっては当該年度に限った貴重な体験機会であるため、可能な限りフォローしていただきたい。

市民の皆様にはご不便をかけるわけではあるが、このことによって、失うものが大きくなりたくないよう、細心の注意を払ってもらうよう真摯に呼びかけていく。8月22日までと1か月以上の長期間にわたるため、宣言慣れや倦怠感によって効果が薄まってしまうなど、これに起因して爆発的な感染にならないように、丁寧に対応していくよう気を付けていただきたい。

以上